

進路だより【第3号】

発行日：令和7年1月17日（金）

発行者：虹の原特別支援学校壱岐分校
進路指導部

壱岐分校では、小学部から高等部まで、それぞれの実態に応じた進路学習を行っています。今回の進路だよりでは、各部の取組についてお知らせします。

小学部

小学部では、「いろいろなお仕事」という学習を通して、身近な公共施設で働く人たちの仕事について学びます。1学期は、6月に郷ノ浦郵便局、スーパーイチャマへ伺い、施設内の見学をしたり、実際に働いている人にお話を聞いたりしました。見慣れない機械に興味をもったり、身を乗り出して仕事の様子を見たりと、子供たちは仕事に対して関心を高めました。2学期には、中学部の作業体験で、キーホルダーやオーナメント作りを通して仕事体験をしました。一定時間作業に集中すること、手順に沿って取り組むことなどを学びました。



郷ノ浦郵便局



スーパーイチャマ



中学部の作業体験



仕事体験



中学部

中学部では、12月11日・12日に校内実習に取り組みました。3年生は、空き缶の仕分けや、窓掃除、書類のシュレッターなどに取り組み、1年生は、吉田商店様から頂いた箱折りの作業に二日間取り組みました。みんな、日頃と違う環境での活動だったため、緊張や不安がたくさん見られましたが、作業学習で学んでいる、報告・返事・相談や最後まで取り組むことを目標に頑張りました。

空き缶の仕分け



窓掃除



ピカピカになりました☆

シュレッター



箱折り



200個折ることができました!

<裏面へ>





高等部



高等部では、11月5日（火）から、1、2年生が11月15日（金）までの2週間、3年生が21日（木）までの3週間、第2回就労体験実習に取り組みました。御協力いただいた事業所の皆様、ありがとうございました。生徒たちは、この実習を通して、卒業後の姿と、今、自分にできることのすり合わせをします。生徒一人一人が希望する進路に進めるよう、実習では「できたこと」の積み重ねだけでなく、「できなかったこと」について、「なぜできなかったのか」「どのようにすればできるようになるのか」を考えます。また、事業所の皆様には、虹の原特別支援学校壱岐分校の生徒たちが、「日頃どのような学習に取り組んでいるのか」「生徒はどのようなことができるのか」などを知っていただく良い機会になっています。

○実習先一覧

<企業>	<福祉事業所>
大幸物産株式会社 様	就労継続支援B型事業所 結 様
長崎県埋蔵文化財センター 様	多機能型事業所 天寿庵 様
(株)クラカタ商事 様	就労継続支援B型事業所 のぎくの丘 様
壱岐市クリーンセンター 様	芦辺町クオリティライフセンター つばさ 様
アグリプラザ四季菜館 様	障がい者支援施設 しらぬい学園 様（諫早市）
古川クリーニング 様	11月26日に実習報告会を行いました。ハローワークや実習先からも複数御参加くださり、感心されていました。来年度は小中学部の保護者の皆様にもお知らせしますので、ふるってご参加ください。
ビューホテル壱岐 様	

実習後は評価会をしていただき、実習先、本人、保護者、学校職員の四者で振り返りを行います。企業、福祉事業所のどちらからも指摘していただくことは、「あいさつ」の大切さです。これはいかなる進路に進もうと、「あいさつ」が社会生活の基本であることを示すものと改めて思いました。学校でも、地域でも、家庭でも実践していきましょう。

